

科目名		学科/学年	時期	授業形態
介護福祉実践実習		エステティックマスター学 科/1年	通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	68回	2単位(68時間)	必須	
授業の概要				
<p>介護職員初任者研修に参加し、介護の応用を学ぶ。また、その知識や技術を活かし、学校近くにある特別養護老人ホームへ行き、施設にいらっしゃる方に対し、コミュニケーションをとり、ハンドケアを行う。</p> <p>普段の学校生活ではあまり接することのないご高齢者に接し技術を提供する事により、介護施設を肌を感じつつ心を込めた丁寧な施術を学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>介護における食事や睡眠・排泄などの全般的な生活支援技術を学び、介護技術の習得を目指す。また、特別養護老人ホームでの施設実習を通して、ご高齢者や障害をお持ちの方に対する接し方やコミュニケーションが一通りできるようになる。また、肌の弱い方や難しい姿勢での技術もできるようになることが目標。</p>				
教員紹介				
エステティックサロンにて勤務経験のある講師が、実務経験に基づいて授業を行う。				
回	テーマ	内容		
1～3	こころとからだの仕組みと生活支援技術①	開講オリエンテーション、職務の理解		
4～7	こころとからだの仕組みと生活支援技術②	介護の基本、福祉のサービスの理解と医療との連携		
8～10	こころとからだの仕組みと生活支援技術③	障害の理解		
11～14	こころとからだの仕組みと生活支援技術④	老化の理解、認知症の理解		
15～17	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑤	こころとからだの仕組みと生活支援技術(基本知識)		
18～21	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑥	こころとからだの仕組みと生活支援技術(生活と家事)		
22～24	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑦	こころとからだの仕組みと生活支援技術(快適な居住環境整備と介護)		
25～28	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑧	こころとからだの仕組みと生活支援技術(睡眠・整容)		
29～31	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑨	こころとからだの仕組みと生活支援技術(移動・移乗)		
32～35	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑩	こころとからだの仕組みと生活支援技術(食事)		
36～38	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑪	こころとからだの仕組みと生活支援技術(入浴・清潔保持)		
39～42	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑫	こころとからだの仕組みと生活支援技術(排泄)		
43～45	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑬	こころとからだの仕組みと生活支援技術(終末期介護)		
46～48	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑭	こころとからだの仕組みと生活支援技術(介護過程の基礎的理解)		
49～52	こころとからだの仕組みと生活支援技術⑮	こころとからだの仕組みと生活支援技術(介護過程の基礎的理解)		

回	テ ー マ	内 容		
53～ 54	コミュニケーション①	介護におけるコミュニケーション技術①		
55～ 56	コミュニケーション②	介護におけるコミュニケーション技術②		
57～ 58	コミュニケーション③	介護におけるコミュニケーション技術③		
59～ 60	コミュニケーション④	介護におけるコミュニケーション技術④		
61～ 62	ボランティア①	ボランティア①		
63～ 64	ボランティア②	ボランティア②		
65～ 66	ボランティア③	ボランティア③		
67～ 68	ボランティア④	ボランティア④		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
タオル各種、トリートメント粧材各種、衛生消毒備品		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 10.0% 80.0%	